

織物市場の地下を探る

江戸時代から明治時代にかけて、川越は全国有数の織物の集散地でした。しかし、機械化の遅れ、経済恐慌により次第に衰退してしまいました。この織物業界の不振を挽回するため、明治43年(1910)に建設されたのが川越織物市場です。

建設当時の姿をよく残すことから平成17年に市指定文化財となり、現在、市では、保存整備のため大規模な解体修理を行っています。このたび、この解体修理に併せて建物下の発掘調査を行い、いくつかの注目すべき発見がありました。

一つは、礎石の下の基礎構造が明らかとなったことです。建物の重量のかかる礎石の沈下を防ぐため、礎石の下を一辺50cm、深さ50cmの方形に掘りくぼめ、栗石と粘土を入れて突き固めていました。これは江戸時代以来の伝統的な工法です。

もう一つは、建物の下から江戸時代の地下室が発見されたことです。この地下室は使われなくなったあと、17世紀後半から18世紀後半の陶磁器や製鉄の際の大量の残留物を含む土砂で埋められていました。「元禄七年川越古絵図」には周辺に鉄砲鍛冶の「国友佐五右エ門」の名があり、これに関わる遺構と考えられます。



コショウラン

チョウのような美しい花をたくさん咲かせる、コショウラン

そんなコショウランを川越から全国に出荷しているのが、愛興洋蘭園(古谷上)の松本景さんです。開花と出荷のタイミングを合わせるのが難しく、「南国から仕入れた苗を、温度や湿度が管理されたハウスで、通常よりも長い期間をかけて、大きな花に育てています」と松本さん。ハウス内は、日光が十分に当たるように株を配置し、水の与え方にも気を使っています。

近年は資材の高騰などが続き、松本さんの悩みは尽きませんが「ブランドとして全国に認められ

るランを作りたい」との思いから、花持ちがよく、より美しいランの生産を目指し、日々努力を続けています。



愛興洋蘭園のコショウランは、市内の生花店や、同園ホームページから購入できます。心を込めて栽培された美しい花で部屋を明るく彩ったり、大切な人へ感謝の気持ちを贈ったりしてはいかがでしょうか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

フキ・チンゲンサイ・キヌサヤ・ネギ・ブロッコリー・トマト・ホウレンソウ・キャベツ・キュウリ・カブ・レタス・ダイコン・新タマネギ・ソラマメ・スナップエンドウ・コマツナ



踊など、歌と踊り、笑いのある伝統芸能に、多くの方が見入っていました。

芸 能が始まると、緊張気味の子どもたちが「下妻踊り」を披露。また、老袋万作保存会による万作芝居「焼山峠」や女性による新舞踊など、歌と踊り、笑いのある伝統芸能に、多くの方が見入っていました。

当日は、老袋万作保存会長を5年以上上務め、後継者の養成や万作の保存と伝承にご尽力された前会長・関根次太郎さんへ市から感謝状が贈呈されました。

境内に設けた舞台で、万作踊りや芝居を奉納し、五穀豊穡を祈願する行事です。

新 緑の木々の隙間から、日の光が差し込む老袋氷川神社で、4月8日に県指定無形民俗文化財に指定されている「老袋の万作」が行われました。この祭事は、毎年4月の第二日曜日に行われ、境内に設けた舞台で、万作踊りや芝居を奉納し、五穀豊穡を祈願する行事です。

編集後記

どんぶり

広報川越1414

発行日/平成30年5月10日(毎月10日・25日発行)
 発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
 ☎049-224-8811(代表) ☎049-225-2171
 編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
 ☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。

リサイクル適性

Fontworks UDFont